



▲栽培棟

コンテナ苗を量産する育苗センターが竣工

カラマツ、少花粉スギ、ヒノキなど年間12万本のコンテナ苗を生産する日南町樹木育苗センターの竣工式が令和3年12月22日に行われました。日南町阿毘縁地区の旧幼稚園・小学校跡を再利用し、国内屈指の最新設備を備えた量産型コンテナ苗生産施設です。

GREEN COMMUNITY

グリーンコミュニティー

日南町
森林組合
広報誌

CONTENTS

日南町樹木育苗センターの概要 P2
皆伐・再造林・間伐のご相談は P3
原木取扱量 P3
FSC森林認証 年次審査報告 P4

活動報告 P4
理事会開催報告 P5
お知らせ P6

天候に左右されない24時間自動管理。 2～3年かかる苗木の成長を1年に短縮



日南町樹木育苗センターは、令和3年に林業種苗法に基づき生産事業者登録を行い、コンテナ苗年間6万本からスタートし、2年後（令和6年度）には約18万本の生産体制を目指しています。

同センターは、苗木生産に実績のある住友林業(株)に建設段階から技術指導を受けて、最新のICT（情報通信技術）等を駆使した生産ラインを整備。運営は、(株)ウッドカンパニーニチナン（秋末光司社長）が行います。

◀コンテナ苗(カラマツ)

容器育種した根鉢付苗で、活着率・初期成長がよい、植付作業を効率化できるなどが特長です。

施設紹介



◀車庫・倉庫 434㎡ (旧体育館)

コンテナ容器・培土等資材などを保管します。



◀事務所 108㎡ (旧幼稚園)

赤外線で種子の充実度を判別する種子選別機を設置しています。



◀作業棟 231㎡

手作業に比べ格段の作業効率を誇る半自動播種機や、安定した発芽を確保する発芽庫などを備えています。



◀屋外馴化スペース

外気馴化および出荷待ちスペースです。育苗棟から運搬車で移動し、養生を行います。



◀栽培棟と棟内 462㎡

最適な生育環境が保てるよう、各種装置で温度・湿度等を常時観測・制御。栽培データは可視化して数値で検証して栽培に役立てられます。1人で1200本以上のコンテナ苗を移動できるムービングベンチも設置されています。

令和3年12月22日 竣工式がとり行われました

竣工式式典は、(株)ウッドカンパニーニチナンや日南町森林組合、日南町など行政関係者のほか、技術提供を行う住友林業(株)の関係者などが参加してとり行われました。



皆伐・再造林・間伐の際は森林組合にご相談ください

日南町内の森林の齢級構成は現在、針葉樹人工林地の林齢45～65年生をピークに、間伐を中心とした施業を行っています。一方で、偏った齢級構成を平準化し、持続可能な森林経営を確立するためには、皆伐・再造林を推進していく必要があります。

皆伐 ●森林組合が立木を買取ります

森林組合では、森林経営計画に基づいた確実な更新のために、立木の買取を行っています。再造林と合わせた一貫作業を行うことで経費を抑えることができます。

※木材の販売単価は変動します。加えて、伐採、搬出経費についても、木の生育、手入れの状況、搬出距離等の条件により販売金額、経費が異なってきますので、計画前には実際に調査、見積りを行います。

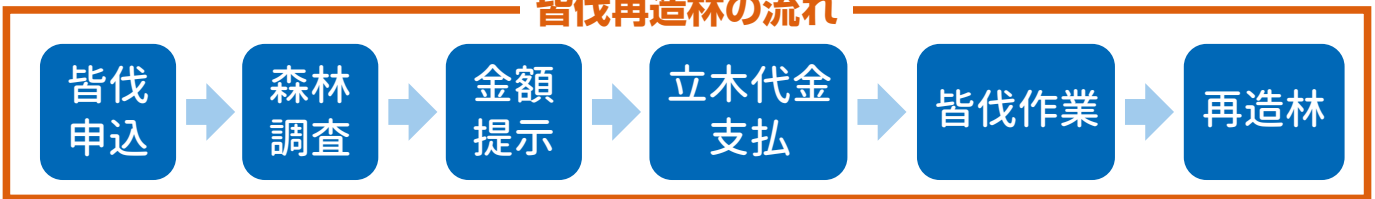
再造林 ●森林所有者の費用負担は0円です

森林所有者への支援として下記の制度があるので、費用負担は発生しません。

- 日南町民有林再造林新植経費補助金
植栽(再造林)経費から造林補助金を差し引いた金額を助成
- 日南町森林組合皆伐・再造林推進支援事業
育林(雪起・下刈)経費から造林補助金を差し引いた金額を支援
※支援には各々対象要件があります。※5年以内に限りです



皆伐再造林の流れ



間伐 ●施業集約すれば、効率化、低コストのメリット

施業集約とは、複数の林地を面的にとりまとめ、一体かつ計画的に広範囲の森林整備を行うこと。所有者の同意を得て集約化できれば、機械化が促進され、生産性が向上し、低コストでの施業が可能になります。

搬出間伐を行った際には、下記の補助金を受け取ることができます。

- 間伐補助金
- 間伐搬出補助金 (持出補助金)



搬出間伐の流れ



原木取扱量

原木の規格・原木買取価格は、木材団地事務所へお問合せください。
電話 0859-83-0211



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	4,008	4,362	5,003	4,242	3,566	3,864	4,367	3,784	3,644	3,639	3,989	4,469	48,937
令和3年度	5,000	3,386	4,613	4,517	4,041	4,570	4,368	4,510	3,334	-	-	-	38,339

FSC®森林認証 年次審査報告

令和3年9月21～22日にFSC森林認証の年次審査が行われました。FSC森林認証のうち「FM（森林管理（FM: Forest Management）認証）」という項目についての更新審査は今回で2回目、通算では12回目となります。

認証審査の項目については以下のとおりです。

①前回の指摘事項

- ・林地残材についての指摘…合格
- ・林道の法面に吹き付ける牧草種子の種類について…合格

②書類審査

- ・森林施業における計画性や、安全装備、管理資料等の審査

③現場審査

- ・間伐作業における妥当性と、作業工程の確認

④作業員への聞き取り

- ・作業の段取りや、気をつけていること。環境面への配慮等
講評は、資源量などの記載について管理資料の一部更新を行うよう指摘を受けました。



活動報告

木材団地周辺の清掃活動を行う

令和3年5月24日、町内の林業関係者（日南町木材生産事業協同組合主催）による木材団地周辺道路の清掃活動を行いました。木材団地を中心に下石見方面と霞方面に分かれ、木の皮やゴミを拾いながら歩きました。今後も、きれいな町づくりを目指し清掃活動を続けていきたいと思えます。



看板を設置

令和3年7月に日南町森林組合生山事務所前に看板を設置しました。遠くから生山事務所の場所がわかるようになり、初めて来訪される方にも好評です。



境港市民の山 散策ツアーを開催

令和3年9月26日、境港市民の山散策ツアーが開催され、参加者は森林組合職員の説明を聞きながら山歩きや伐木などを楽しみました。コロナ禍ということもあり、参加は例年の半分の人数となりましたが、山についての理解を深めるよい機会となったようです。ツアー中に伐った木は、境港市民交流センターで家具として使用されます。



当森林組合が林野庁長官賞を受賞

令和3年10月28日、第29回 J Forest 全国森林組合代表者大会が開催され、当森林組合は優良組合表彰林野庁長官賞を受賞しました。これを励みに一層の森林整備等に努めてまいります。



伐木チャンピオンシップ開催される

令和3年11月6日、7日の2日間にわたり、鳥取県北栄町「出会いの広場」にて「第2回 日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取」が開催されました。この大会には全国各地から58名の選手が参加し、伐倒・丸太輪切り・枝払いなどの5種目で、スピード・正確性などの技術面や安全面などを採点ポイントに、日ごろの成果を競い合いました。



林業機械「ブラキオ」のデモを見学

令和3年12月8日、阿毘縁地区にて松本システムエンジニアリング(株) (福岡県) のロングアーム伐倒機「ブラキオEX」を使ったデモンストラーションが行われました。2.5mのストロークで、建機中心から最長12m先の立木を伐倒できる林業機械で、参加者は実演作業を興味深く見入っていました。



日南町森林組合J-verをご購入いただきました

令和3年度も「日南町森林組合J-ver」購入に係る売買締結を行いました。

ご購入いただき、ありがとうございました。

購入日	購入企業様名	購入量	仲介企業様名
令和3年5月13日	(有)前田石油店	5トン	
5月24日	カルネコ(株)	10トン	カルネコ(株)
6月14日	(株)CHCPファーマシー	9トン	カルネコ(株)
6月28日	(有)大生建設	20トン	
6月28日	(有)近藤板金工作所	5トン	
6月28日	(株)マシン・メンテナンス	3トン	
9月8日	(有)福岡組	8トン	(株)山陰合同銀行
9月8日	(有)ふくおか運輸	2トン	(株)山陰合同銀行
10月1日	小竹林業(株)	11トン	(株)鳥取銀行
10月1日	(有)今松工務店	5トン	(株)山陰合同銀行
令和4年1月24日	(有)福田建機	5トン	(株)鳥取銀行



理事会開催報告

第3回理事会 (令和3年8月6日)

協議事項

- ・ 苗木事業について
- ・ 固定資産の取得について
- ・ その他

第5回理事会 (令和4年1月21日)

協議事項

- ・ 木材団地事務所増築工事について
- ・ 固定資産の取得・廃棄について
- ・ 第59回通常総代会開催日について
- ・ 日南町森林組合60周年記念行事について
- ・ その他

第4回理事会 (令和3年11月10日)

協議事項

- ・ 令和3年度上半期決算並びに下半期の見込みについて
- ・ 監事監査の指摘事項等に対する回答について
- ・ 固定資産の取得について
- ・ 皆伐・再造林推進支援額の決定について
- ・ 分収造林契約の締結について
- ・ 役員賠償責任保険加入について
- ・ 転貸資金について
- ・ 職員年末賞与支給について
- ・ その他

山林の伐採や立木の売買の際は、事前に森林組合にご相談を

山林の伐採および立木の売買には、届出の提出が森林法で義務づけられています。伐採および立木の売買をされる前には森林組合へ必ずご相談ください。森林経営委託契約をしている方については、森林組合が「伐採及び伐採後の造林の届出」を提出するので必要はありませんが、伐採計画はお知らせください。

令和4年度 補助金取扱手数料及び精算時期について

手数料

組合員の方は事業費×15%になります。但し、持出補助金は材積1m³当たり300円（税別）になります。

精算時期目安

■雪起こし・新植・下刈り・除伐・枝打

■持出補助金

8月・11月・1月

5月・8月・11月・2月

■間伐（搬出）

5月・10月・1月

上記を精算時期としておりますが、作業の終了時期、申請件数や積雪の状況、それに伴い県の検査状況、県・国予算の執行状況により精算時期が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

総代の皆さまへ

第59回通常総代会の開催を下記のとおり予定しております。

開催日 令和4年5月27日金曜日

場 所 日南町総合文化センター

※新型コロナウイルス感染症流行状況によって変更する場合があります。



森林の土地の所有者届出制度について

平成24年4月以降に売買や相続贈与、法人の合併等により森林の土地所有者となった方は、所有者となった日から90日以内に取得した土地のある市町村の長に届出する必要があります。

届出のない場合は罰則規定も付されております。

詳しくは日南町役場へお問合せください。

組合員名義変更などについて

亡くなられた組合員の方の名義の変更がまだの方は森林組合までご連絡いただきますようお願いいたします。届出用紙をお送りします。

引越しをされてご住所が変更になられた方も森林組合までご連絡いただきますようお願いいたします。

編集後記

日南町でも寒さが緩み始め、日ごと陽ざしに明るさを増してきています。土の中の虫たちも春の訪れを感じ、そろそろと穴から出てくる時季です。山には日増しに生命力があふれてきます。コロナ禍の人間界はもうしばらく辛抱が必要ですが、こういう時でも山の中にいれば穏やかな気分になれるようです。

組合員数（令和4年1月31日現在）	
正組合員数	1,500名
准組合員数	8名

グリーンコミュニティー No.154

発 行 日南町森林組合

発 行 日 令和4年2月

発行責任者 平田 広志

印 刷 富士印刷有限会社